

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時におけるスタッフと地域住民の役割・連携体制等について、周知徹底が図れていない。	地域住民との交流の機会を増やし、協力体制の確立を依頼していく。	運営推進会議時や地域の行事に参加した際に、災害時における役割等を伝える。また、スタッフに関しては、研修の時間を設け災害時マニュアルに基づいて各スタッフの対応を再確認するとともに、個々の意識や技術の向上を図っていく。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期のあり方について、事業所としての明確な方針が確定していない。	ターミナルケアに対する事業所の方針を明確にし、全スタッフの意識を統一するとともに、技術や知識を向上させていく。	訪問看護の導入に向けて、H22年度中にナースステーションと話し合いの機会を設け、事業所としての方針を明確にしていく。その後は、訪問看護の導入時期を来春と設定したうえで、ご家族からの同意を求めていく。	3ヶ月
3	13	職員がスキルアップしていける機会が少ない。	法人外の研修も必要だが、まずは法人内の研修システムを充実させていく。	現状において最も必要とされる研修内容を再検討し、計画表を作成する。スタッフから特に意見が多い災害時対応については、あらゆる場面を想定した訓練を実施し、全スタッフが自信を持って業務にあたるよう努める。	6ヶ月
4	2	事業所と地域住民との関わりが少ない。	施設側は管理職者、住民側は地域の役割を担っている方だけに限らず、できるだけ多くの地域住民やスタッフが関わっていけるようにする。	施設長、管理者、民生委員、町会長における関わりはあるが、十分なものとは言えないのが実情である。今後は地域の活動や運営推進会議、施設行事を通じて、多くのスタッフと地域住民との交流の場を設けられるようにしていく。	6ヶ月
5					ヶ月